



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL http://www.uacj.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飯田 晴央 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	152,494	9.9	9,487	93.0	7,809	99.7	4,401	217.3
29年3月期第1四半期	138,753	△5.6	4,916	6.0	3,911	5.4	1,387	△40.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,629百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △5,795百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9.12	—
29年3月期第1四半期	3.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	736,823	200,282	25.3	385.67
29年3月期	725,443	198,360	25.4	381.47

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 186,114百万円 29年3月期 184,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	3.00	—	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円となり、1株当たり年間配当金は6円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	300,000	7.6	16,000	53.9	13,000	75.9	7,000	223.1	14.51
通期	630,000	10.9	36,000	39.2	30,000	51.4	17,000	95.1	352.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	483,281,934株	29年3月期	483,281,934株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	711,824株	29年3月期	697,593株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	482,576,113株	29年3月期1Q	427,669,074株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第4期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期末 3円00銭（注1） 期末 3円00銭（注2）
- 2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 35円23銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式併合考慮前に換算した配当額です。

（注3）平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は6円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国の政権運営等、全般的な先行き不透明感を持ちながらも、米国や欧州、中国及び新興国等において、総じて緩やかな景気回復が持続しております。

我が国経済は、企業活動の持ち直しが続くほか、家計部門において緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のもと、当社グループの業績につきましては、販売数量の増加や地金価格の上昇等に伴い売上高は152,494百万円（前年同期比9.9%増）となりました。損益については、棚卸評価関係の好転や販売数量の増加、コストダウン等により、営業利益9,487百万円（同93.0%増）、経常利益7,809百万円（同99.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,401百万円（同217.3%増）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界の国内需要については、板類では、飲料缶向けにおいてはビール需要の減をボトル缶や低アルコール飲料向けが補い前年同期並みでした。自動車関連分野においては自動車へのアルミ材の採用が広がり、部材用板材の数量が増加しております。押出類に関しては、二大需要分野である、建築分野と自動車分野がともに好調であり、内需全体としても前年同期比プラスの結果となりました。また、板押出とともに、半導体や液晶・有機EL等の製造装置向け需要が非常に好調であり、厚板や棒材の出荷が増加しております。

当社グループの国内向売上数量は、上記全体需要とほぼ同様の傾向であり、板押出とともに前年同期を超える結果となりました。特に厚板については、高水準の販売が継続しております。

また、板類に関しては、タイ王国の板圧延工場（UACJ (Thailand) Co., Ltd.）の販売増もあり、グループ全体の売上数量も前年同期を超える数量となりました。

このような販売状況の結果、当第1四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は121,672百万円（前年同期比8.8%増）となりました。営業利益については、棚卸評価関係の好転や販売数量の増加、コストダウン等により9,683百万円（同73.4%増）となりました。

伸銅品事業

当事業の主力製品である空調用銅管の主要用途である家庭用エアコン及び業務用パッケージエアコンの国内生産は引続き堅調に推移し、国内出荷台数もともに前年同期を上回っており、当社グループの伸銅品事業の売上数量も前年同期を上回りました。銅地金価格においては、前年同期は下落局面にありましたが、当第1四半期連結累計期間是对前年同期比で上昇し安定して推移しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は11,668百万円（前年同期比3.5%増）となりました。営業利益は、棚卸評価関係の好転等を主因として626百万円（同611.5%増）となりました。

加工品・関連事業

既存事業の需要増加に伴う受注増やSRS Industries, LLC（現：UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.）の買収を行った事等により、当第1四半期連結累計期間の加工品・関連事業の売上高は44,911百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益は1,158百万円（同76.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べて1,922百万円増加し、200,282百万円となりました。

総資産については、設備投資等により前連結会計年度末と比べて11,380百万円増加し、736,823百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,242	18,481
受取手形及び売掛金	126,287	135,498
商品及び製品	29,179	29,661
仕掛品	42,969	47,261
原材料及び貯蔵品	43,764	47,379
その他	22,152	33,127
貸倒引当金	△29	△32
流動資産合計	305,563	311,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,516	61,272
機械装置及び運搬具（純額）	95,953	95,937
土地	115,034	115,927
その他（純額）	32,964	41,825
有形固定資産合計	305,467	314,960
無形固定資産		
のれん	50,677	49,389
その他	16,713	16,169
無形固定資産合計	67,390	65,558
投資その他の資産		
投資有価証券	28,269	27,232
その他	18,857	17,803
貸倒引当金	△103	△104
投資その他の資産合計	47,023	44,931
固定資産合計	419,880	425,449
資産合計	725,443	736,823

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,431	112,061
短期借入金	50,592	53,582
コマーシャル・ペーパー	—	6,000
1年内償還予定の社債	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	45,268	42,588
その他	34,859	32,638
流動負債合計	237,650	249,368
固定負債		
社債	2,500	1,250
長期借入金	222,964	220,620
退職給付に係る負債	18,768	18,816
その他	45,201	46,488
固定負債合計	289,433	287,174
負債合計	527,083	536,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	42,252	45,205
自己株式	△241	△246
株主資本合計	174,605	177,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,592	2,708
繰延ヘッジ損益	△661	△877
為替換算調整勘定	6,851	5,975
退職給付に係る調整累計額	703	755
その他の包括利益累計額合計	9,485	8,561
非支配株主持分	14,270	14,167
純資産合計	198,360	200,282
負債純資産合計	725,443	736,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	138,753	152,494
売上原価	121,276	129,343
売上総利益	17,477	23,150
販売費及び一般管理費	12,561	13,664
営業利益	4,916	9,487
営業外収益		
受取利息	23	385
受取配当金	280	261
その他	241	188
営業外収益合計	544	834
営業外費用		
支払利息	997	1,357
持分法による投資損失	—	932
その他	552	222
営業外費用合計	1,549	2,511
経常利益	3,911	7,809
特別利益		
受取保険金	—	189
投資有価証券売却益	10	—
その他	30	16
特別利益合計	40	205
特別損失		
固定資産除却損	73	129
たな卸資産評価損	—	125
出資金評価損	45	—
その他	40	3
特別損失合計	158	258
税金等調整前四半期純利益	3,793	7,756
法人税等	2,217	3,143
四半期純利益	1,576	4,613
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	212
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,387	4,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,576	4,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	115
繰延ヘッジ損益	153	△227
為替換算調整勘定	△6,746	△589
退職給付に係る調整額	△10	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△687	△306
その他の包括利益合計	△7,371	△984
四半期包括利益	△5,795	3,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,866	3,477
非支配株主に係る四半期包括利益	△929	153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	99,059	8,395	31,299	138,753	—	138,753
セグメント間の内部売 上高又は振替高	12,797	2,883	7,294	22,974	△22,974	—
計	111,857	11,278	38,593	161,728	△22,974	138,753
セグメント利益	5,585	88	656	6,329	△1,412	4,916

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,412百万円には、たな卸資産の調整額44百万円、セグメント間取引消去△75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,381百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	107,064	8,372	37,057	152,494	—	152,494
セグメント間の内部売 上高又は振替高	14,608	3,295	7,854	25,757	△25,757	—
計	121,672	11,668	44,911	178,250	△25,757	152,494
セグメント利益	9,683	626	1,158	11,467	△1,981	9,487

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,981百万円には、たな卸資産の調整額△242百万円、セグメント間取引消去△78百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,661百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。